# SR−800P
# 取扱説明書

株式会社　エス･アール作成

平成24年6月

# 重要

本装置を使用する前に、必ず本取扱い説明書を読み、
内容を十分にご理解した上で使用してください。

# 注意事項

・ 光源を目に当てたり見つめたりしないでください
・ 幼児の手の届かない場所でご利用ください
・ バーコードの読取以外で使用しないでください
・ 弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください
・ 医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください
・ 日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください
・ 英文のマニュアルは、あくまで補足用です。
英文のマニュアルに記載してある事についての動作保証はしません

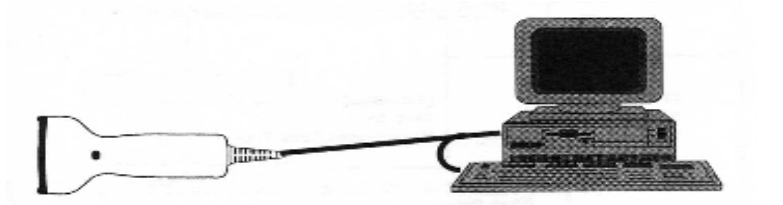
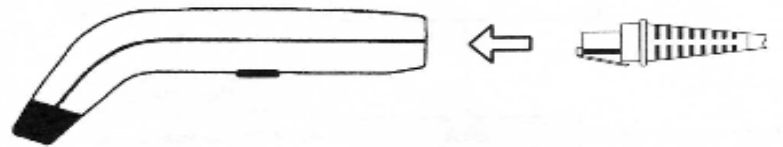
## 安全に正しくご使用いただくために

・ ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください
・ 本機を分解改造しないでください
・ ケーブル類は、できるだけ高圧線や動力源から離して、ご使用ください
ノイズや故障等の原因になります。
・ ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください
なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
・ 本機の受光部に、水・油・ほこりなどを付着させないでください。
・ 本機は、精密機械ですので、落下させた場合、破損する恐れがあります。
持ち運びや設定の際は　ご注意ください

# インデックス

# 1　接続方法

例：キーボードウェッジタイプのスキャナー

1）端末からキーボードコネクタを外して、スキャナーのYケーブルをつなぎ、その後パソコンのキーボードポートにつないで、パソコンの電源を入れます。

2）バーコードリーダは電話用ジャック型のコネクターによってつなげてあります。
（レーザースキャナの場合は、コネクタ部のネジを外してください）

3）電話用ジャック型コネクターはスキャナーから簡単に取り外せます。スキャナーの後ろにある小さな穴にピンか針を差し込んでください。
（レーザースキャナの場合は、ネジ部を外すと　簡単に外れます。）

# ２ 設定手順

機能設定の開始　　設定開始バーコードを読む

次の設定

各種設定　　設定を行いたい機能のバーコードを読む

アスキーコードの指定

数値の設定

16進数の上位　　数字の10の位

プリフィックスとサフィックスのみ

16進数の下位　　数字の1の位

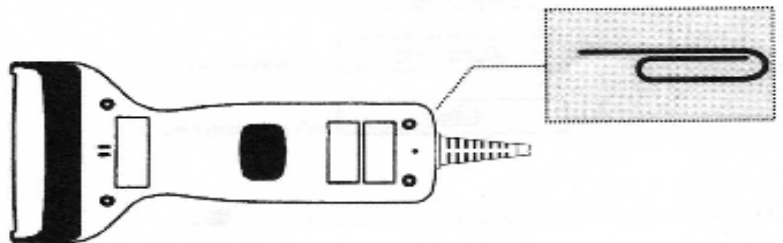
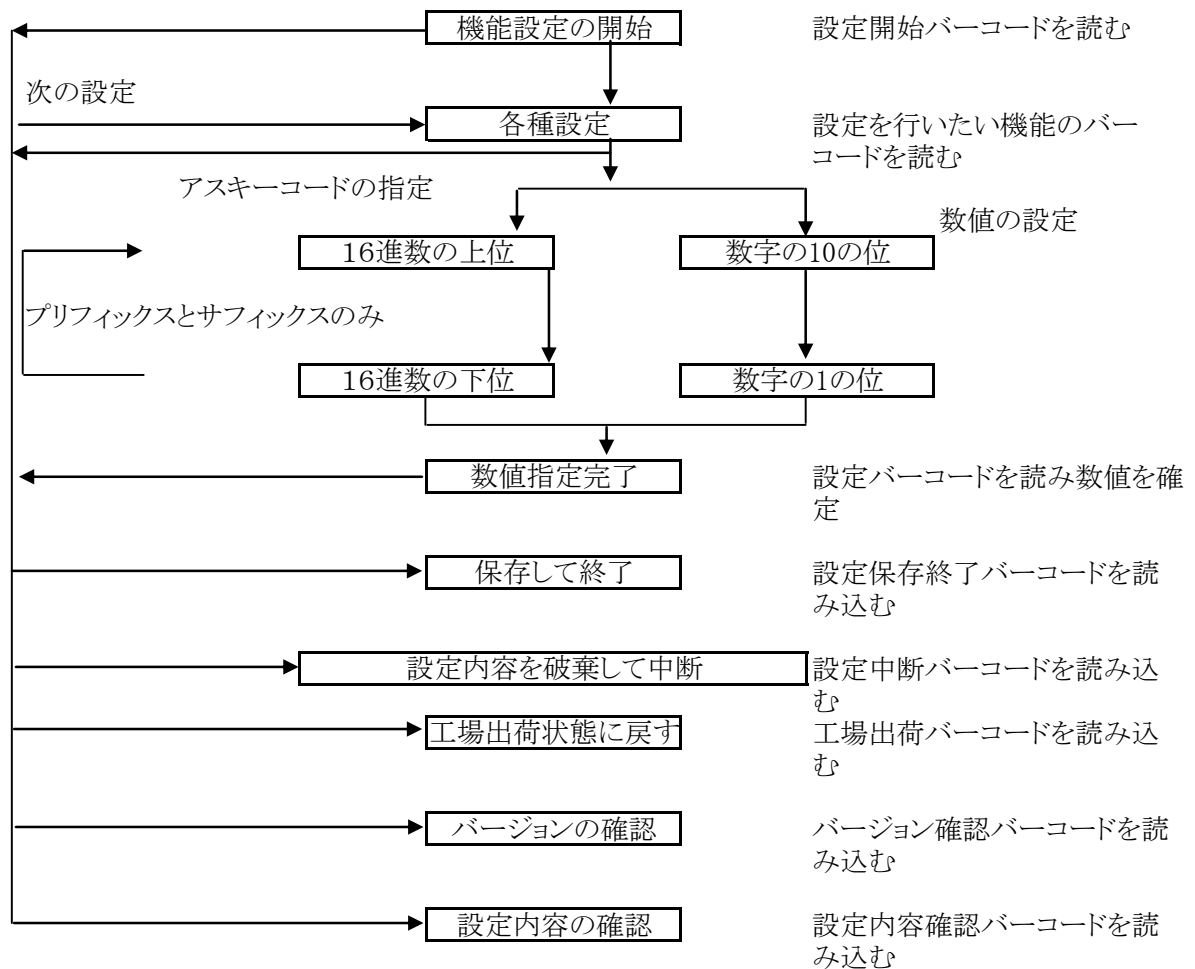
数値指定完了　　設定バーコードを読み数値を確定

保存して終了　　設定保存終了バーコードを読み込む

設定内容を破棄して中断　　設定中断バーコードを読み込む

工場出荷状態に戻す　　工場出荷バーコードを読み込む

バージョンの確認　　バージョン確認バーコードを読み込む

設定内容の確認　　設定内容確認バーコードを読み込む

設定を行っている最中にわからなくなってしまった場合には、設定内容を工場出荷状態に戻して、最初から行う事をお勧めいたします。工場出荷状態は＜　＞で示されています。

## 3 用語の意味

①設定項目名．．．．各機能の設定項目の名前

②設定開始バーコード．．．．設定を開始する際に1番最初に読み込むバーコード

③機能設定バーコード．．．．各設定機能のためのバーコード

設定機能名．．．．各設定の機能の名前

工場出荷値．．．．工場出荷状態の設定の表記は＜　＞

設定説明．．．．各種設定内容の説明

設定範囲．．．．設定する際の決められた範囲

設定中断終了バーコード

③設定保存終了バーコード．．．．設定を終了する際に1番最後に読み込むバーコード

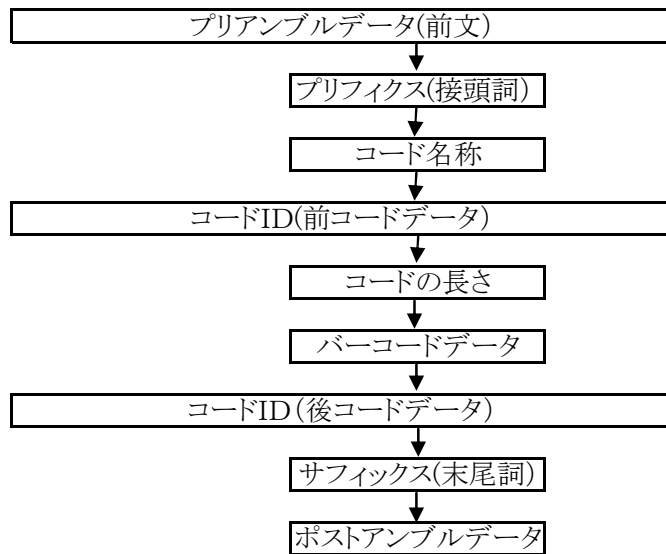
---

設定の仕方

スキャナーの全機能設定は本取扱説明書のバーコードを読み込むことにて行います。
以下の設定の仕方を参考にして必要なページをA4にて印字した上、読込んで設定願います。

①設定したい項目のページを開きます。
②設定開始のバーコードを読み込みます。
③設定したい機能の設定用バーコードを読み込みます。
④設定保存終了のバーコードを読み込みます。

## 4　出力データフォーマット

読み込んだバーコードの前後に必要なデータを付加させることができます。

# 5　初期設定

DEFAULTのバーコードを読み込み時の内容です。

バーコードの設定内容

| コード種類 | 読込有効 | 最小限の長さ | 最大限の長さ | コードID |
|---|---|---|---|---|
| UPC-A | ○ | － | － | |
| UPC-E | ○ | － | － | |
| EAN 13(JAN 13) | ○ | － | － | |
| EAN 8(JAN 8) | ○ | － | － | |
| Code 39 | ○ | | | |
| Interleaved 2 of 5 | ○ | | | |
| Industrial 2 of 5 | | | | |
| Martrix 2 of 5 | | | | |
| UCC EAN/128 *注意 | | | | |
| Codabar/NW7 | ○ | | | |
| Code 128 | ○ | | | |
| Code 93 | ○ | | | |
| Code 11 | ○ | | | |
| MSI/Plessey | ○ | | | |
| UPC-EAN Add ON 2/5 | | | | |
| IATA Code | | | | |
| ISBN | | | | |

## 6　出荷時の設定

☆出荷時の設定内容

弊社のバーコードリーダは、下記の設定をして出荷しております。
出荷時の設定に戻されたい場合は、下記の手順に従って作業してください

設定開始

A)　デフォルトの設定をします。
　　　　デフォルトのバーコードを読みます。

デフォルト

B)　インタフェース設定

USB

KeyBoad

RS232C
詳細設定は、弊社までご連絡をお願い致します。

C)　日本語のキーボードの設定をします。
　　　　言語設定で、日本語を選択します。

日本語

　　　　設定終了バーコードを読みます。

設定終了

注意
上記の設定は出荷時の設定に戻されたいときに行ってください。
何らかの事情で調子が悪くなったとき等、上記の設定をお薦めいたします。

# 7 キーボードインターフェース

## ☆キーボードのタイプ

キーボードは、日本仕様（DOS/V）に設定してあります。しかし、お客様で特別に設定されたい
場合や、初期化して再度設定したい場合に登録してください。下記以外の設定は、英語マニュアルの11Pを
ご参照ください

〈IBM PC/AT,PS2〉

MAC SE

IBM PS/2 25,30

PS-55

## ☆キーボード言語

バーコードリーダは、デフォルトは英語キーボードにて設定されていますが、日本語キーボードにて設定して
出荷しています。初期化した場合は、設定に注意してください

〈英語〉

日本語

## ☆キーボードスピード

キーボードのスピードは、ノーマルで設定してあります。特に遅い場合を除いて、この設定にて動作させてくださ
い。

〈ノーマル〉

ターボ

## ☆終端データ（PS2タイプ　及び　USBタイプ）

バーコードデータの後ろにつく文字をどれにするかを設定します。

NONE

ESC

〈CR〉

CTRL-C

空白

EXEC

TAB

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

## 8 各種設定1

設定開始

### ☆読込モード1

読み込みモードは、バーコードリーダの読込をどのような状態するかを設定します。

〈読込後　消灯〉

連続読取

トリガスイッチにて動作

テストモード

### ☆読込モード2

光線の出力時間を設定する場合に使用します。
デフォルトは、3秒に設定してあります。
設定は、右のバーコードを読込した後、HEXラベルのテーブルを読んで時間を設定します。

トリガ　ONしてからの光線のOFF時間

### ☆読込モード3

### ☆大文字/小文字

自動

〈大文字〉

小文字

### ☆10キーパッド

この設定を行うと、10キーに合わせた形式の動作ができます。
10キーパッドの設定をONにして、NUM　LOCKをOFFにすると、1の場合　END　4左　6は右　2は下　8は上矢印と同じ動作をする事ができます。

ON

〈Off〉

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

# 9　各種設定2

設定開始

☆ブザー

ブザーの高さと長さの設定を変更することができます。
設定は、左のバーコードを読んで、HEXA　DECIMALコードを読込んで設定することができます。

ブザーの高さ(0－22)

ブザーの長さ(0－127)

☆パワーアップトーン

電源入力時に、起動音を発生させるかの設定をします。

〈ON〉

OFF

☆LED表示

LEDの表示を設定します。
規定では、ノーマル状態で点灯し、バーコード読込でOFFします。
別の設定では、ノーマル時OFFで、バーコード読込で点灯します。

〈ノーマル時　ON〉

ノーマル時　OFF

☆ インターフェース

バーコードリーダのインターフェースの設定を行います。
USB及びPS2タイプは、キーボードにて設定してください

KeyBoad

RS232C

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

設定開始

## ☆コードID

読込んだバーコードの種類別コードをデータの先頭に表示させせます。
データは、SETテーブルによって表示させる文字が違います。

CODE ID＝ON

〈CODE ID＝OFF〉

Set1

Set2

Set3

Set4

Set5

## ☆Code ID Set1-Set5 テーブル表

| | Set1 | Set2 | Set3 | Set4 | Set5 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Code39 | A | C | Y | M | A | |
| Industrial 2 of 5 | C | H | H | H | S | |
| Inteleave 2 of 5 | D | I | Z | I | S | |
| Matrix 2 of 5 | E | G | G | G | S | |
| Codabar | F | N | X | N | F | |
| Code 93 | I | L | L | L | G | |
| Code 128 | H | K | K | K | C | |
| EAN8 | P | B | B | FF | E | |
| Ean13 | M | A | A | FF | E | |
| MSI | V | V | D | P | M | |
| UPCA | M | A | A | A | E | |

## ☆予備

## ☆予備

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

# 11　RS232C パラメータ

## ☆終端データ

データの最後にどのデータを付加するかを選択します。

| | | |
|---|---|---|
| NONE | ESC | <CR> |
| CTR－C | CR/LF | STX..EXT |
| LF | XON. . XOFF | SPACE |
| EOT | TAB | |

## ☆ボーレートの設定

| | | |
|---|---|---|
| 300 | 600 | 1200 |
| 2400 | 4800 | <9600> |
| 19200 | 38400 | |

## ☆データ長・パリティー

セットアップ　データビット

7　ビット

<8ビット>

セットアップ　パリティー

| | | |
|---|---|---|
| <NONE> | Even | Odd |

## ☆予備

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

設定開始

## 12 プリアンブルとポストアンブルの設定の仕方

☆プリアンブル （例 バーコードデータの先頭に ”A”を付加したい場合）

読込データの先頭に、予め設定したデータを登録する事ができます。
設定できる文字数は最大で10文字までです。
設定の仕方

1 ページの右上の設定開始のコードを読込ます。

2 プリアンブルコードを読込ます。

プリアンブルコード

〈例〉

3 ◎ASCII TABLE表から読込みたい数字・記号等を選びます。
16進テーブルコード表から2文字単位でデータをセットします。

例）”A”の場合は41なので”4”と”1”を読込む

4

1

4 Confirmを読込ます。

5 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます。

Confirm

☆ポストアンブル（例 データの最後尾に”A”を付加したい場合）

読込データの最終尾に、予め設定したデータを登録する事ができます。
設定できる文字数は最大で10文字までです。
設定の仕方

1 ページの右上の設定開始のコードを読込ます。

2 ポストアンブルコードを読込ます。

ポストアンブルコード

〈例〉

3 ◎ASCII TABLE表から読込みたい数字・記号等を選びます。
16進テーブルコード表から2文字単位でデータをセットします。

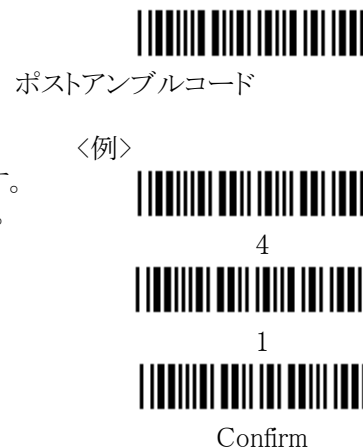
例）”A”の場合は41なので”4”と”1”を読込む

4

1

4 Confirmを読込ます。

5 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます。

Confirm

☆プリアンブルとポストアンブルデータを消去したい場合

1 ページ右上の設定開始バーコードを読込ます。

2 クリアしたいバーコード（ポストアンブルかプリアンブル）を読込みます

プリアンブル

3 Clearバーコードを読込ます。

ポストアンブル

4 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます

Clear

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

# 13 EAN-13/JAN-13

設定開始

### ☆読取の設定

初期設定では、読取可能になっております。

〈ON〉

OFF

### ☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。

〈ON〉

OFF

### ☆ISBN/ISSN 転換

ISBN（国際標準図書番号）とISSN（国際標準遂次刊物番号）は、2種類の
バーコードブックラベルです。ISBNは978がついた10桁の数字で、ISSNに
EAN－13のコード体系がついた8桁の数字です。

〈ON〉

OFF

### ☆ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は
切り捨てられます。

ON

〈OFF〉

### ☆ADD/ON設定

定期刊行物（雑誌）コードを読み込む際、この設定をします。
このコードは、通常のJAN-13に5桁の数字がついています。

ON

〈OFF〉

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

## 14 UPC－A

設定開始

☆設定

初期設定では、読取可能になっております。

<ON>

OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。

<ON>

OFF

☆ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。

ON

<OFF>

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

# 15 EAN8/JAN8

設定開始

☆設定

初期設定では、読取可能になっております。

<ON>

OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。

<ON>

OFF

☆EAN-8 コンバート EAN-13

EAN－8(JAN－8)のコードの先頭に5桁の0を付加します。

ON

<OFF>

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

設定開始

# 16 CODE 39

☆設定

初期設定では、読取可能になっております。

<ON>

OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。

<ON>

OFF

☆Start/End キャラクター　転送

スタート/エンドキャラクタ　（＊）を転送するか否かを選択します。

ON

<OFF>

☆チェックサムの設定

**チェックサム（モジュラス43）のチェックを行うかを設定します。**
弊社では、チェックをお勧めします。

ON

<OFF>

☆フォーマット

フルASCII　CODE－39は、CODE－39の強化版で、全てのASCII
コードを表す128キャラクターのデータです。

<Srandard>

Full ASCII

ABORT（設定中断終了）

END（設定保存終了）

# 17 Interleaved 2 of 5

## ☆設定

初期設定では、読取可能になっております。

<ON>

OFF

## ☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。

<ON>

OFF

## ☆チェック（モジュラス10）

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。

ON

<OFF>

## ☆バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。（デフォルトは　Min：2　Max：48）
1　設定開始バーコードを読込みます。
2　右のバーコード長設定バーコードを読込ます。
3　16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
　　（最低　6桁　最大　10桁の場合　「0」「6」「1」「0」　の順に読取ります。）
4　16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります

バーコード長設定

## ☆

ユーザー設定

ABORT（設定中断終了）

END（設定保存終了）

設定開始

☆設定

初期設定では、読取不可になっております。

ON

<OFF>

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。

<ON>

OFF

☆チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。

ON

<OFF>

☆バーコード長セット

**バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)**

1 設定開始バーコードを読込みます。
2 右のバーコード長設定バーコードを読込ます。
3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
 (最低 6桁 最大 10桁の場合 「0」「6」「1」「0」 の順に読取ります。)
4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります

バーコード長設定

☆ IATA

IATAの読取の設定です。
通常は、OFFに設定されています。

ON

<OFF>

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

設定開始

☆設定

初期設定では、読取可になっております。

〈ON〉

OFF

☆スタート・ストップコード転送

CODABAR/ NW7のスタートストップコードをパソコンに転送する場合に指定します。

ON

〈OFF〉

☆スタート・ストップ種類

Codabar/NW7は 6種類のスタートとストップコードが用意されていますので、ご使用されるバーコードの種類に合わせて1つ選択してください

ABCD/ABCD

ABCD/TN*E

abcd/abcd

abcd/tn*e

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

設定開始

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

A

B

C

D

E

F

Confirm

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

# 21 ASCII TABLE

| . | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | NUL | DLE | SP | O | @ | P | | p |
| 1 | SOH | DC1 | ! | 1 | A | Q | a | q |
| 2 | STX | DC2 | “ | 2 | B | R | b | r |
| 3 | ETX | DC3 | # | 3 | C | S | c | s |
| 4 | EOT | DC4 | $ | 4 | D | T | d | t |
| 5 | ENQ | NAK | % | 5 | E | U | e | u |
| 6 | ACK | SYN | & | 6 | F | V | f | v |
| 7 | DEL | ETB | ‘ | 7 | G | W | g | w |
| 8 | BS | CAN | ( | 8 | H | X | h | x |
| 9 | HT | EM | ) | 9 | I | Y | i | y |
| A | LF | SUB | * | : | J | Z | J | z |
| B | VT | ESC | + | ; | K | [ | k | { |
| C | FF | FS | , | < | L | \ | L | \| |
| D | CR | GS | - | - | M | ] | m | } |
| E | SO | RS | . | > | N | ^ | n | ~ |
| F | SI | US | / | ? | O | - | o | DEL. |

**◎一連の設定方法は「12 プリアンブルとポストアンブルの設定の仕方」通りに設定をします。**

**＜ASCII TABLE利用方法＞**
**この表から読み込みたい数字・記号等を選び16進テーブルコード表の数字を読み込んでください。**